

## 第2章 地域団体アンケート

### 序. 調査の概要

#### (1) 調査内容

市内全学区の学区連絡協議会等を対象に、団体の概要、町内会・自治会、地域活動及びコミュニティセンター（コミュニティ施設）の状況についてのアンケート調査を実施しました。

(2) 調査対象 市内全学区の学区連絡協議会等（266 学区）

(3) 調査期間 平成 26 年 8 月 21 日（木）～平成 26 年 9 月 30 日（火）

(4) 調査方法 各区区政協力委員協議会でアンケート調査票を配布。返送は郵送。

#### (5) 回収結果

区 分	配布数	回収数	割合(%)
合 計	266	252	94.7
1 コミュニティセンター設置学区	225	213	94.7
2 準コミュニティセンター設置学区	25	25	100.0
3 コミュニティセンター・準コミュニティセンター未設置学区	16	14	87.5

#### (6) 調査結果

##### 1 共通設問

問 1～問 31 ..... 19

##### 2 コミュニティセンター設置学区 設問

問 32～問 54 ..... 32

##### 3 準コミュニティセンター設置学区 設問

問 32～問 47 ..... 40

##### 4 コミュニティセンター・準コミュニティセンター未設置学区 設問

問 32～問 37 ..... 45

※ (n) は各設問の回答者数を表します。

※回答結果の割合「%」は回答者数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単一回答であっても合計値が 100%にならない場合があります。また、複数回答の合計は 100%を超えます。

## 2-1 団体の概要

### (1) 団体の構成

#### ①団体の名称

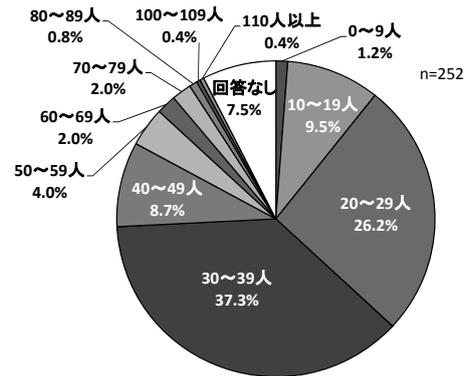
問1 団体の名称はどれにあたりますか。(1つだけ○)

団体の名称は、92.9%の団体が「学区連絡協議会」と最も多くなっています。それ以外では「学区公民会」(2.0%) などがあります。

#### ②構成員数

問2 学区連絡協議会等の構成員数は何人ですか。

構成員数は、「30～39人」が37.3%と最も多く、次いで「20～29人」が26.2%となっています。両者をあわせると「20～39人」で6割以上を占め、平均的な人数は「20～39人」となっています。



#### ③構成団体

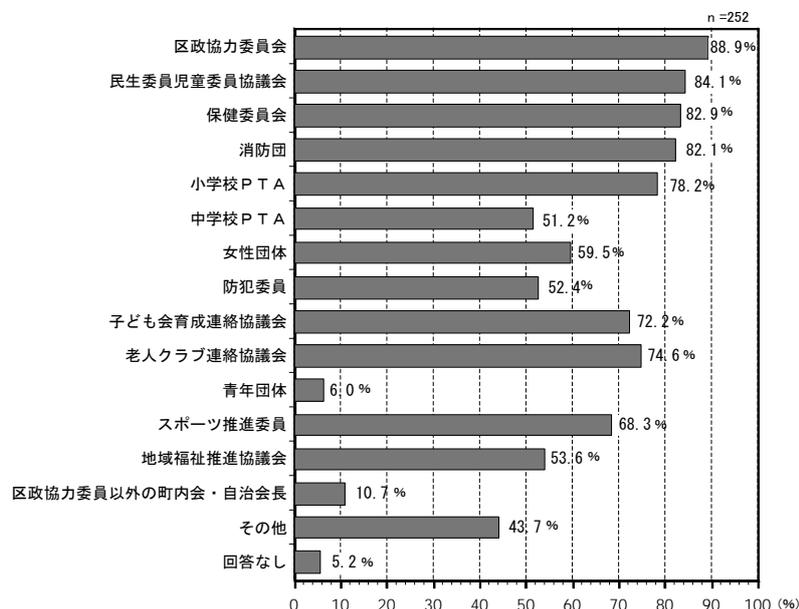
問3 貴学区内に次の団体等があれば、A欄に○をつけてください。その団体等の代表者が学区連絡協議会等の構成員となっているものについては、B欄にも○をつけてください。

学区内に存在する団体では、「区政協力委員会」「民生委員児童委員協議会」「保健委員会」「消防団」は、全ての学区で存在していると回答されています。

学区連絡協議会等の構成員としては、「区政協力委員会」「民生委員児童委員協議会」「保健委員会」「消防団」「小学校PTA」が、約8割の学区で構成員となっています。それ以外の団体も構成員となっている学区が多く、主要な団体は構成員となっています。

また、区政協力委員としての参加形態は、6割以上の学区が全員参加となっています。

構成員となっている団体—代表者が構成員



## (2) 運営体制

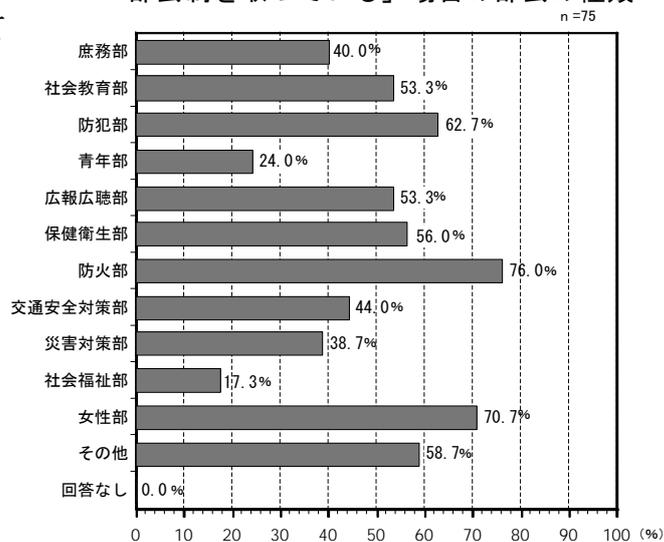
### ①部会制

問4 学区連絡協議会等について、部会制をとっていますか。(1つだけ○)

部会制をとっている学区は29.8%と、約3割の学区は部会制をとっていますが、とっていない学区が6割以上と多くなっています。

部会制のある学区における部会の種類としては、「防火部」が76.0%の学区にあり、最も多くなっています。次いで「女性部」が70.7%と7割以上の学区で設置しています。それ以外では「防犯部」「保健衛生部」「社会教育部」「広報広聴部」も多く、半数以上の学区が設置しています。

「部会制を取っている」場合の部会の種類



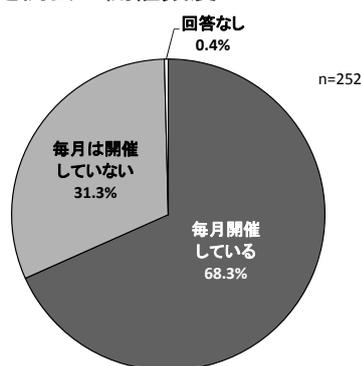
### ②定例会の開催頻度

問5 学区連絡協議会等の会合（定例会）はどのくらいの頻度で行っていますか。(1つだけ○、2を答えた場合は具体的な数字もご記入ください)

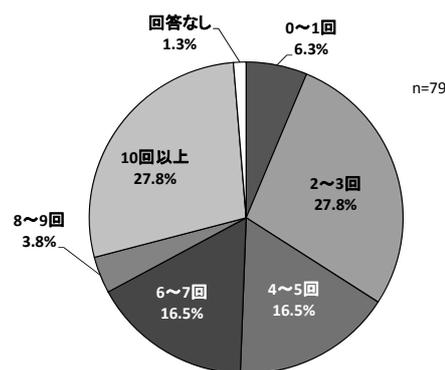
学区連絡協議会等の定例会の開催頻度は、「毎月開催している」が68.3%あり、約7割の学区は、定例会を毎月開催しています。

毎月開催していない残り3割の学区では、「10回以上」とほぼ毎月開催している学区が22学区あり、毎月開催の172学区とあわせると77.0%の学区は、年に10回以上開催しています。一方で、「0～1回」「2～3回」の少ない開催頻度の学区が27学区みられます。

定例会の開催頻度



「毎月開催していない」場合の具体的な年間開催回数

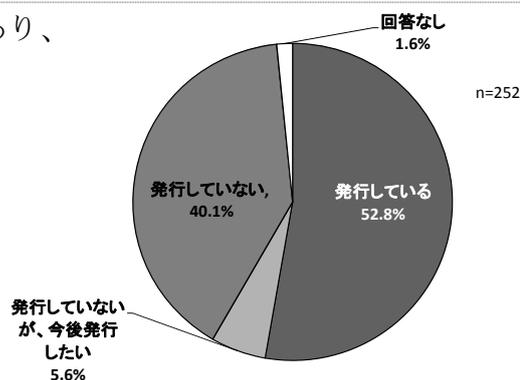


## (3) 広報活動

### ①広報紙の発行の有無

問6 学区として広報紙を発行していますか。(1つだけ○)

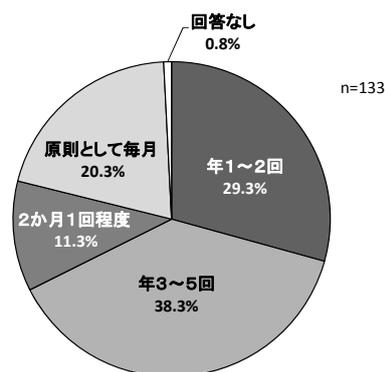
学区の広報紙は、「発行している」が52.8%あり、半数の学区は広報紙を発行しています。



## ②広報紙の発行頻度

問7 どれくらいの頻度で発行していますか。(1つだけ○)

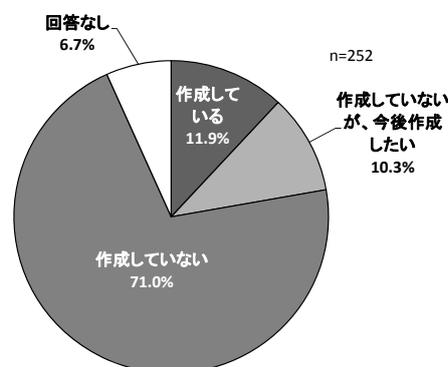
広報紙の発行頻度は、「原則として毎月」発行している学区が20.3%となっています。一方、「年3～5回」が38.3%、「年1～2回」が29.3%あり、学区によって発行回数は異なります。



## ③ホームページの作成の有無

問8 学区としてホームページを作成していますか。(1つだけ○)

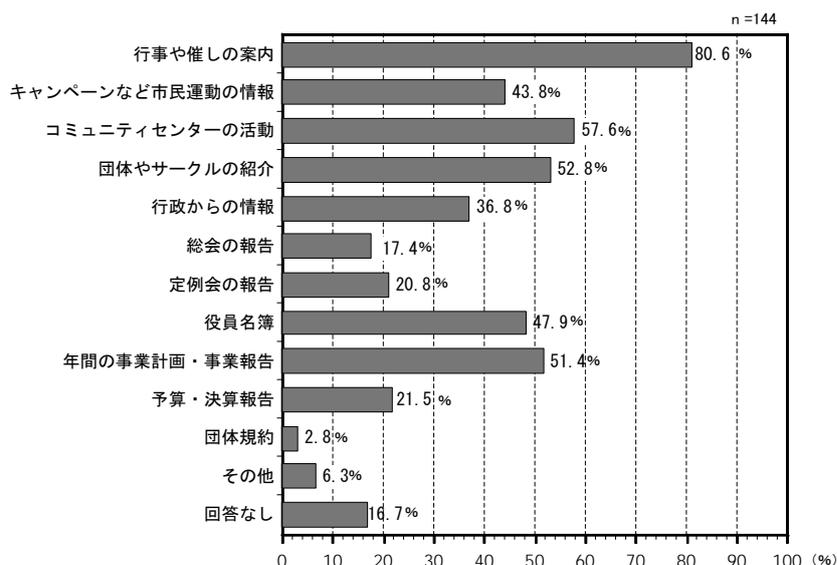
ホームページの作成状況は、「作成している」が11.9%となっており、ホームページのある学区は1割程度となっています。



## ④広報している内容

問9 地域住民に広報紙やホームページで広報している内容は何ですか。(○はいくつでも)

広報紙やホームページで広報している内容は、「行事や催しの案内」が80.6%と最も多くなっています。それ以外では「コミュニティセンターの活動」、「団体やサークルの紹介」、「年間の事業計画・事業報告」、「役員名簿」などが主な内容となっています。

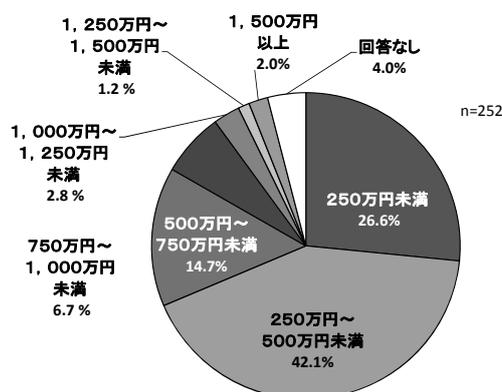


#### (4) 学区の予算

##### ①年間総予算額

問 10 学区連絡協議会等の年間の総予算額は、どのくらいですか。(1つだけ○)

学区連絡協議会等の年間の総予算額は、「250万円～500万円」が42.1%と最も多くなっています。次いで「250万円未満」が26.6%となっており、500万円以下が7割近くを占めています。



##### ②収入内訳

問 11 学区連絡協議会等の収入の内訳は、どうなっていますか。(○はいくつでも)

「行政からの補助金・委託料」が94.0%、「構成員からの会費(町内会費など)」が91.7%と、ほとんどの学区が収入源としています。次いで「寄付金」が21.8%、「自主事業収入(イベントなどの事業の売上、広告料など)」が17.9%と、それぞれ約2割の学区で収入源としています。また、それ以外には「民間の助成金」7.9%などがあります。

#### (5) 役員

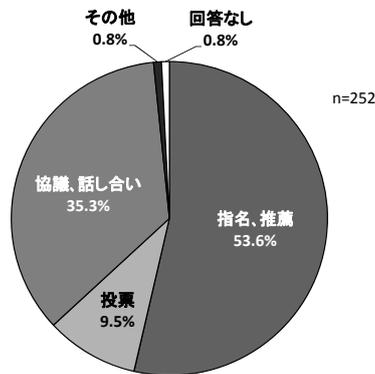
##### ①役員を選任方法

問 12 学区連絡協議会等の役員(会長、副会長・会計・監査)は、通常どのように決めていますか。(それぞれ1つだけ○)

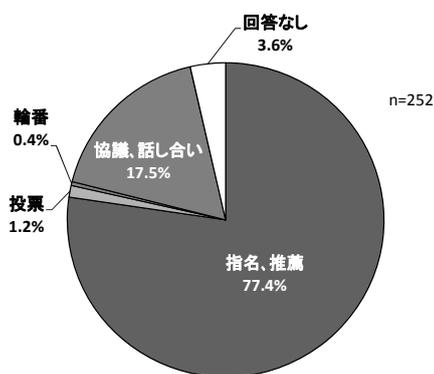
学区連絡協議会等の会長の選任方法は、「指名、推薦」が53.6%と半数以上となっています。次いで「協議、話し合い」が35.3%と多く、約9割の学区はこのいずれかの方法で選任しています。一方、「投票」は9.5%と、1割以下となっています。

また、その他の役員(副会長・会計・監査)については、「指名、推薦」が77.4%となっています。

役員選任方法-会長



役員選任方法-副会長・会計・監査



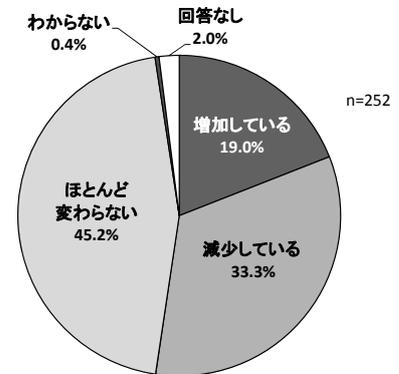
## 2-2 町内会・自治会

### (1) 町内会・自治会への加入状況

#### ①加入率の傾向

問 13 あなたの学区における町内会・自治会加入率はどのような傾向にあると思いますか。  
(1つだけ○)

町内会・自治会の加入率の傾向は、「ほとんど変わらない」が45.2%と最も多くなっています。しかし「減少している」33.3%に対して「増加している」が19.0%にとどまっており、全体としては現状維持又は減少の傾向がみられます。

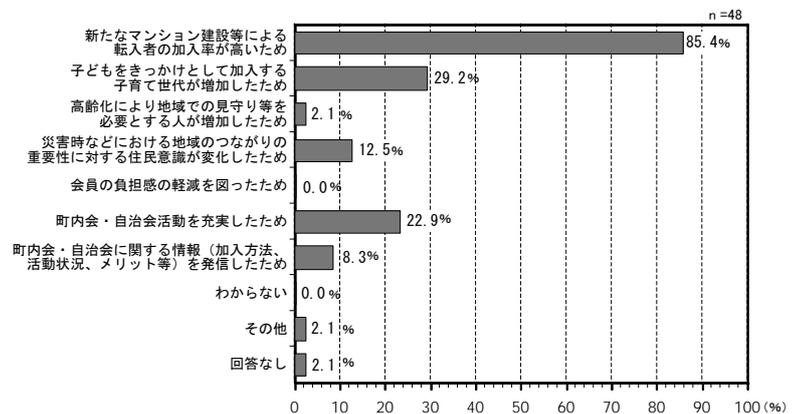


#### ②加入率の増加要因

問 14 加入率が増加している要因は何だと思えますか。(○はいくつでも)

加入率が増加している学区の増加要因は、「新たなマンション建設等による転入者の加入率が高いため」が85.4%と最も多くなっています。

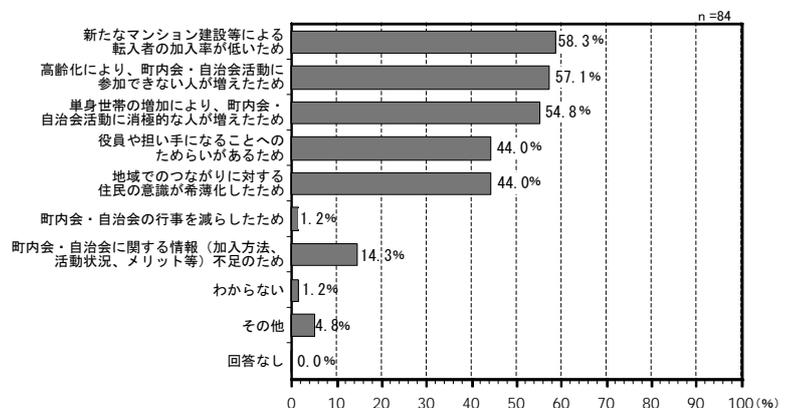
一方、「町内会・自治会活動を充実したため」が22.9%あり、町内会・自治会の努力で増えている学区もみられます。



#### ③加入率の減少要因

問 15 加入率が減少している要因は何だと思えますか。(○はいくつでも)

加入率が減少している学区の減少要因は、「新たなマンション建設等による転入者の加入率が低いため」58.3%、「高齢化により、町内会・自治会活動に参加できない人が増えたため」57.1%、「単身世帯の増加により町内会・自治会活動に消極的な人が増えたため」54.8%など、各項目にわたって回答率が高くなっており、多様な要因が複合的に作用して減少していることがわかります。



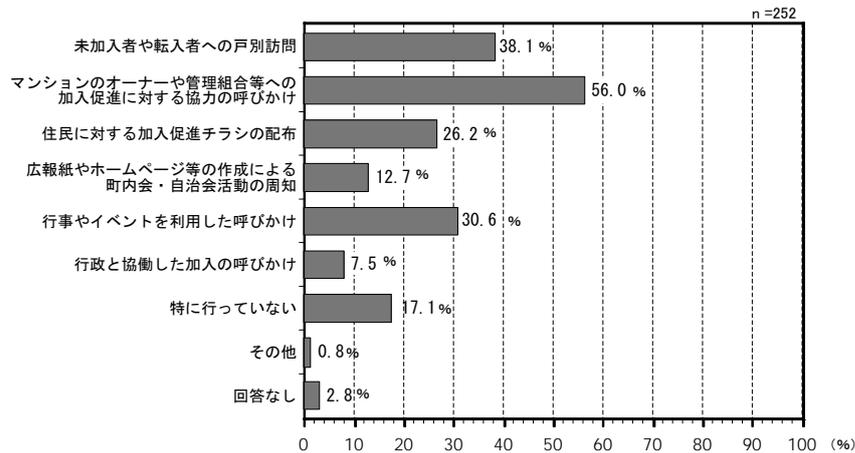
## (2) 町内会・自治会への加入促進

### ①加入促進の取組内容

問 16 加入促進のために行っている取組がありますか。(〇はいくつでも)

加入促進のための取組としては、「マンションのオーナーや管理組合等への加入促進に対する協力の呼びかけ」が56.0%と最も多く、町内会・自治会加入率の増加要因でもみられたようにマンション入居者への加入促進が多くのある学区で行われています。

それ以外では「未加入者や転入者への戸別訪問」、「行事やイベントを利用した呼びかけ」、「住民に対する加入促進チラシの配布」を行っている学区もみられます。

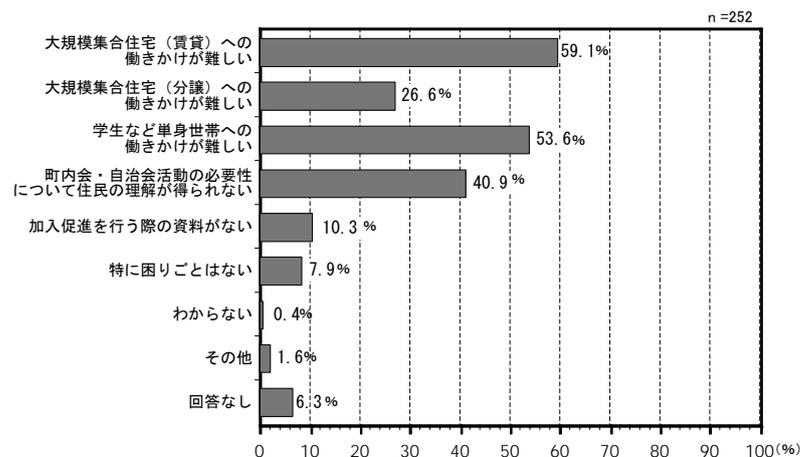


### ②加入促進のお困りごと

問 17 加入の働きかけを行うにあたっての、お困りごとはありますか。(〇はいくつでも)

加入促進の課題としては、「大規模集合住宅（賃貸）への働きかけが難しい」、「学生など単身世帯への働きかけが難しい」が5割以上あり、賃貸の大規模集合住宅入居者と単身者への加入促進が課題となっていることがわかります。

また、「町内会・自治会活動の必要性について住民の理解が得られない」も40.9%あり、町内会・自治会の必要性についての理解を得ることも課題と感じている学区が多くなっています。

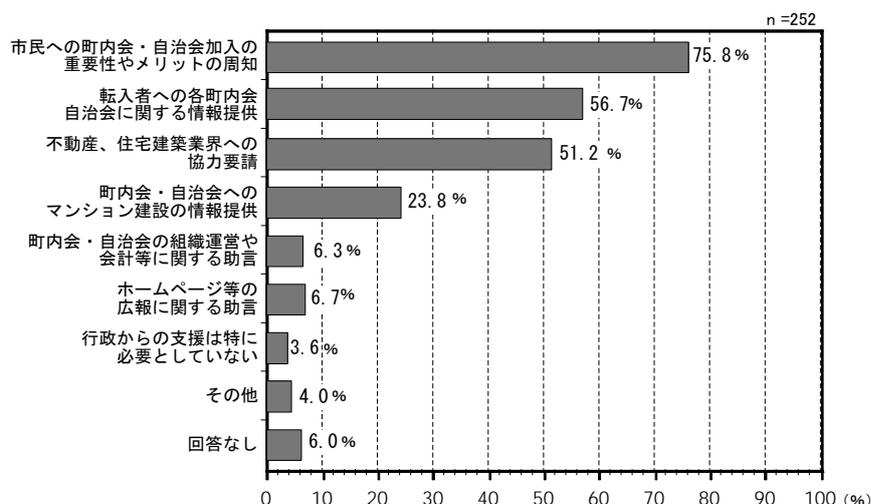


### ③加入促進のための行政の支援策

問 18 加入促進のために、行政からどのような支援が有効だと思いますか。(〇はいくつでも)

加入促進のために有効な行政の支援策は、「市民への町内会・自治会加入の重要性やメリットの周知」が75.8%と最も多くなっています。加入促進のお困りごと（問17）にもあるように町内会・自治会活動の必要性についての理解が得られないという課題もあり、そのために加入の重要性やメリットを行政側から周知することが求められています。

それ以外では「転入者への各町内会・自治会に関する情報提供」、「不動産、住宅建築業界への協力要請」も5割以上となっており、転入者への情報提供や入居者への働きかけを住宅建築事業者など業界に要請することも行政に期待されています。



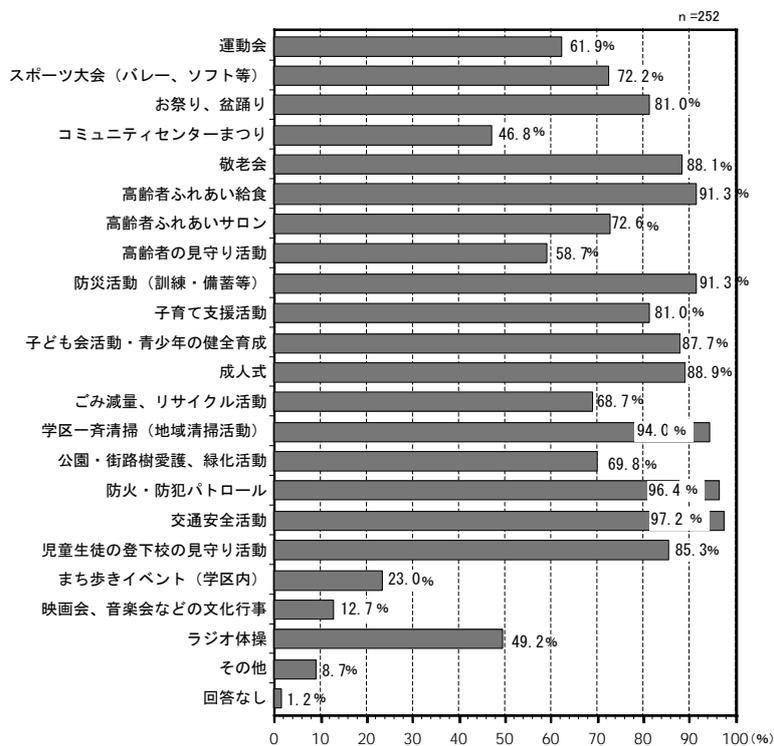
## 2-3 地域活動

### (1) 地域活動の現状

#### ①学区で実施している活動・行事

問 19 現在、学区として行っている活動・行事にはどのようなものがありますか。  
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

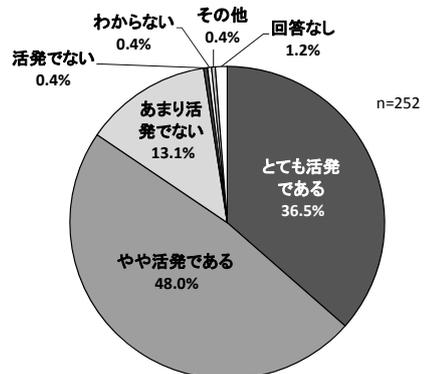
学区で実施している活動・行事として、「交通安全活動」、「防火・防犯パトロール」、「学区一斉清掃」、「高齢者ふれあい給食」、「防災活動」、「成人式」、「敬老会」、「子ども会活動・青少年の健全育成」は約9割の学区で実施されています。それ以外でも7割から8割の学区で実施されている活動・行事は多く、各学区は多様な活動を実施しています。



#### ②地域活動の活動状況

問 20 地域活動は活発だと思いますか。(1つだけ○)

地域活動の活動状況について、「とても活発である」と「やや活発である」をあわせると84.5%、「あまり活発でない」と「活発でない」をあわせると13.5%となっており、大半の学区が活動は活発であると評価しています。

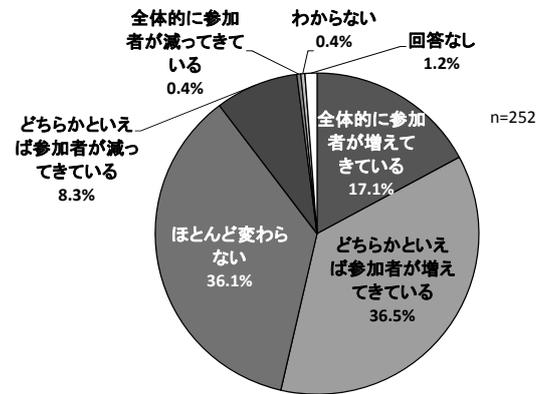


### ③地域活動への参加者の状況

問 21 地域活動への参加者の状況はどうか。(1つだけ○)

地域活動への参加者の状況は、「どちらかといえば参加者が増えてきている」が36.5%と最も多く、次いで「ほとんど変わらない」が36.1%となっています。

「全体的に参加者が増えてきている」と「どちらかといえば参加者が増えてきている」をあわせると、5割以上が増えていていると回答しています。

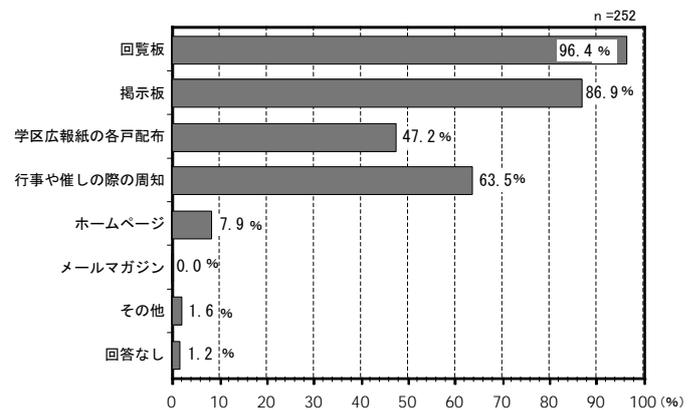


### ④地域活動情報の提供方法

問 22 地域住民に対し、どのような手段で地域活動などの情報をお知らせしていますか。(○はいくつでも)

地域活動情報の提供方法は、「回覧板」が96.4%、「掲示板」が86.9%とこの2つの方法が主要な情報提供の手段となっています。

それ以外では「行事や催しの際の周知」63.5%、「学区広報紙の各戸配布」47.2%などの方法で情報を提供しています。

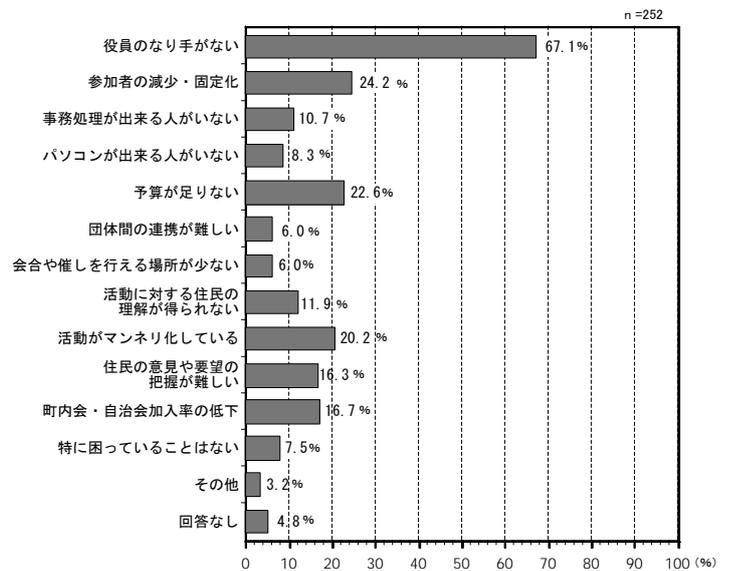


### ⑤地域活動上の課題

問 23 地域活動を行う上で、お困りになっていることは何ですか。(○は主なもの3つまで)

活動上の課題としては、「役員のなり手がいない」が67.1%と他の項目に比べて際立って多くなっています。

それ以外では「参加者の減少・固定化」24.2%、「予算が足りない」22.6%、「活動がマンネリ化している」20.2%、「住民の意見や要望の把握が難しい」16.7%、「町内会・自治会加入率の低下」16.7%、「活動に対する住民の理解が得られない」11.9%、「住民の意見や要望の把握が難しい」16.3%、「活動がマンネリ化している」20.2%、「参加者の減少・固定化」24.2%、「予算が足りない」22.6%、「団体間の連携が難しい」6.0%、「会合や催しを行える場所が少ない」6.0%、「特に困っていることはない」7.5%、「その他」3.2%、「回答なし」4.8%。

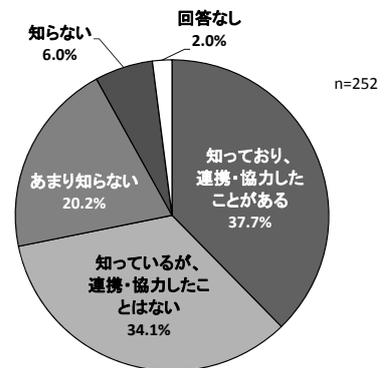


## (2) ボランティア団体・NPO・企業等との協力

### ① ボランティア団体・NPO・企業等との連携の有無

問 24 地域活動に協力しているボランティア団体やNPO・企業等を知っていますか。また連携・協力して活動したことはありますか。(1つだけ〇)

ボランティア団体やNPO・企業等との連携・協力の有無については、「知っており、連携・協力したことがある」が37.7%ある一方、半数以上は「連携・協力したことがない」(知らない・あまり知らないを含む)となっています。

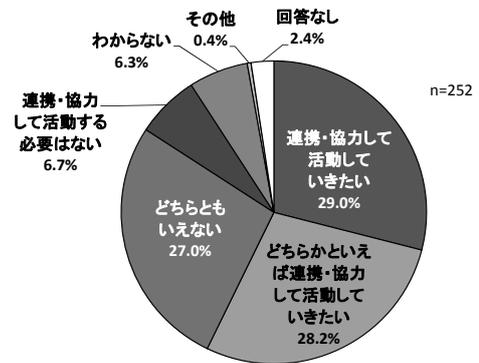


### ② ボランティア団体・NPO・企業等との連携の意向

問 25 ボランティア団体やNPO・企業等と連携・協力して地域活動を行うことについてどう思いますか。(1つだけ〇)

ボランティア団体やNPO・企業等との連携・協力の意向は、「連携・協力して活動していきたい」が29.0%、「どちらかといえば連携・協力して活動していきたい」が28.2%と、約6割弱が連携・協力の意向を持っています。

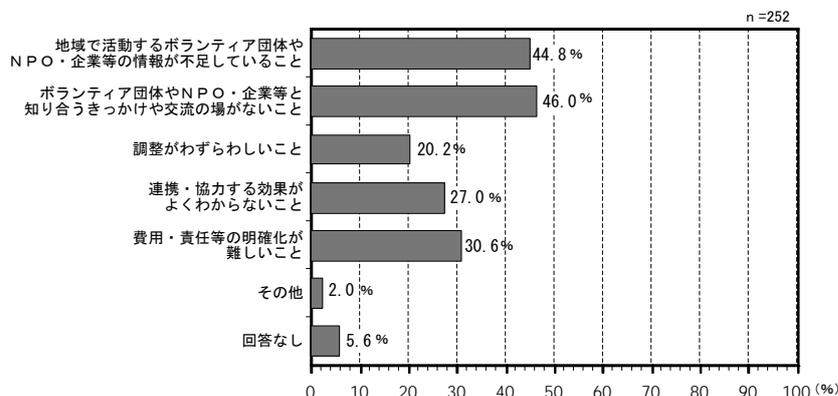
一方、「連携・協力して活動する必要はない」という否定的な回答は6.7%にとどまっています。



### ③ ボランティア団体・NPO・企業等との連携の課題

問 26 ボランティア団体やNPO・企業等と連携・協力することに対する課題は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

ボランティア団体やNPO・企業等との連携・協力の課題は、「知り合うきっかけや交流の場がないこと」が46.0%、「地域で活動するボランティア団体やNPO・企業等の情報不足」が44.8%と、知り合うきっかけや情報の不足が課題となっています。



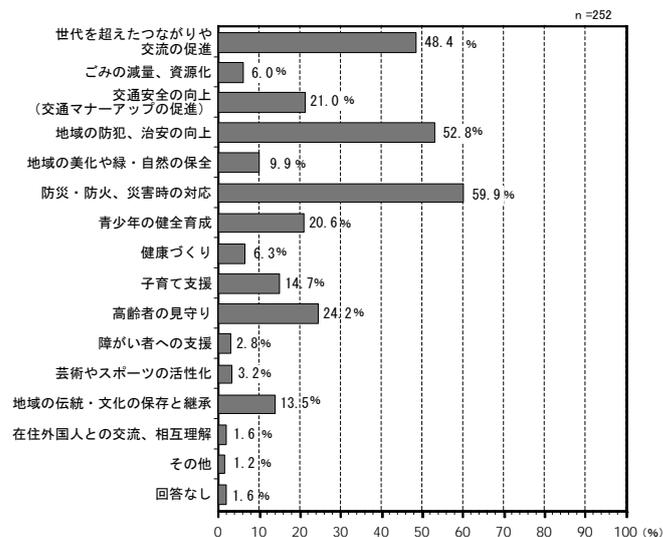
### (3) 今後の地域活動

#### ①今後の活動内容

問 27 貴学区で今後取り組んでいきたいと考えていることは何ですか。(〇は主なもの3つまで)

今後の活動内容については、「防災・防火、災害時の対応」が59.9%と最も多く、次いで「地域の防犯、治安の向上」が52.8%と多く、防災・防犯等の地域の安心・安全に関する活動に取り組む意向が強くみられます。

また、「世代を超えたつながりや交流の促進」が48.4%あり、地域内での世代間交流活動に取り組む意向の学区も多くなっています。

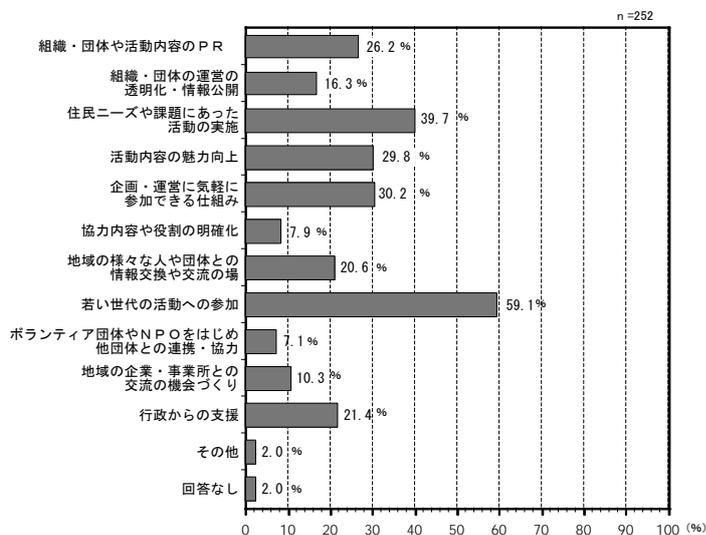


#### ②地域活動活性化に必要なこと

問 28 地域活動を活発にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は主なもの3つまで)

地域活動活性化に必要なことでは、「若い世代の活動への参加」が59.1%と最も多くなっています。多くの学区で、地域活動の活性化には、若い世代の新しい発想やパワーが必要であると考えられていると思われます。

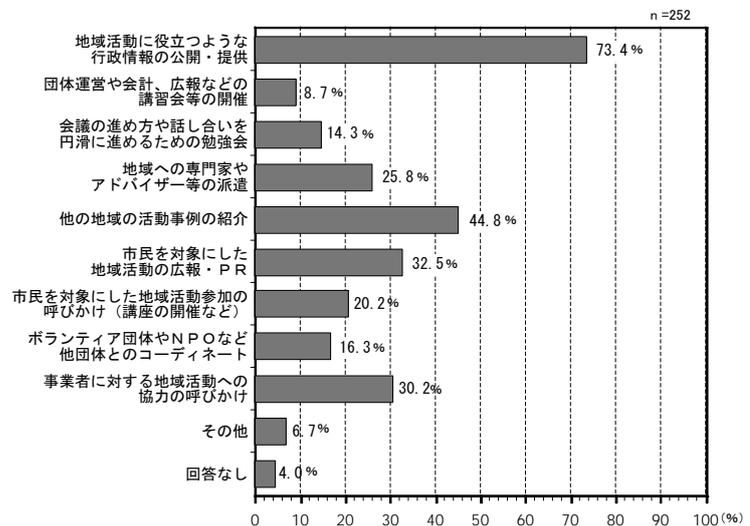
それ以外では「住民ニーズや課題にあった活動の実施」が39.7%、「企画・運営に気軽に参加できる仕組み」が30.2%、「活動内容の魅力向上」が29.8%と多くなっています。



### ③地域活動活性化のための支援

問 29 地域活動を活性化するために、行政からどのような支援があるとよいですか。  
(〇はいくつでも)

地域活動活性化のための行政の支援としては、「地域活動に役立つような行政情報の公開・提供」が73.4%と他の項目に比べて際立って多くなっています。次いで「他の地域の活動事例の紹介」44.8%、「市民を対象にした地域活動の広報・PR」32.5%、「事業者に対する地域活動への協力の呼びかけ」30.2%となっており、行政からの支援として、活動に役立つ情報や地域の活動事例の情報提供を行うことに加え、市民や事業者に対して広報や呼びかけをしていくことが期待されています。



### (4) 地域活動活性化のための工夫

問 30 貴学区で地域活動の担い手を増やし、地域活動を活発にするために、特に工夫していたり、取り組んでいることがありましたら、教えてください。

#### ①地域活動の担い手を増やすための取り組み

(主な内容)

- ・年間の行事予定を早期に立て各団体へ周知を図っている。予定も含め、行事マニュアルを整備している。
  - ・仕事をしている人でも参加できるように会議は夜に、行事は土日に行っている。
  - ・老人主体の団体と子ども主体の団体との連携を図ることによる担い手の発掘。
  - ・事業ごとに実行委員会を立ち上げ、2年ごとに輪番制で交代し、スタッフに広く経験してもらおう。また、事業ごとにボランティアスタッフを回覧等で一般公募している。
  - ・役がついてないと参加しにくいし自覚も促せないため、役職を増やし軽目の役についてもらうようにして参加を促している。
- など

## ②地域活動を活発にするための取り組み

(主な内容)

- ・「コミセンまつり」を通じて教室やサロンなどPR活動を行うとともに、広報紙による広報と新しい参加者の発掘を行っている。
- ・各行事に各団体の方の多くの参加を図り、特にPTA役員・消防団員の若い人を促し、マンネリ化打破に務めている。
- ・中学校・高校・大学の吹奏楽部等に各行事に積極的に参加していただいている。
- ・集会所でサロンを開設し「誰でもいつでも自由に」集まる場所づくりを行っている。
- ・どの世代の人にも参加してもらえよう、イベント等の内容を色々工夫している。
- ・ボランティア団体交流会を開催している。 など

## ③その他

問 31 地域団体や地域活動に関して日頃から感じていることについてご自由にお書きください。

(主な内容)

- ・地域の方々の地域活動に対する意識を変えていくことが一番大切だと思う。「自分たちの手で住み良いまちに変えていく」という意識改革が必要である。
- ・色々な行事をしているが、参加者がいつも同じ顔なので、多くの方に参加していただけるよう声かけ運動等をしている。
- ・夏祭りや運動会等の学区行事には参加するが町内会には加入しない。どのように加入率をアップさせるのが一番の問題。安心・安全で快適なまちづくりを推進するには、向こう三軒両隣、町内組織の活性化が必要と思われる。
- ・現在の連絡協議会の役員・指導者・区政協力委員長等の方々が、これからの数年で急速に高齢化していくので、新旧の交代をいかにスムーズにするかが今後の課題。
- ・地域活動を推進、実施する場合、どうしても一部の人間に負担が集中する傾向があるため、新たなる推進者を増やすことが必要である。 など

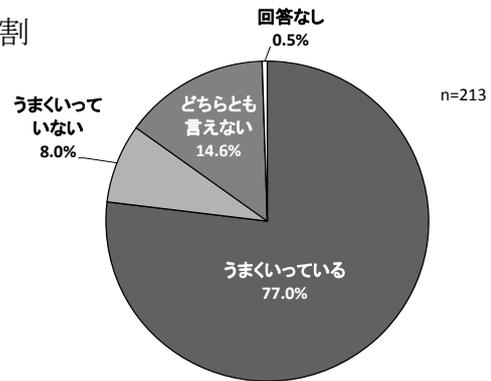
## 2-4 コミュニティセンター設置学区

### (1) コミュニティセンターの管理運営

#### ① 運営面の評価

問 32 コミュニティセンターは、管理運営することもコミュニティ活動の一環であるということから、地域の自主管理・自主運営となっていますが、運営面はうまくいっていますか。  
(1つだけ○)

コミュニティセンターの運営面について、「うまくいっている」とした学区は77.0%と、約8割を占めています。



#### ② 運営面でうまくいっている内容

問 33 運営面について、うまくいっていると考えている内容について、教えてください。

(主な内容)

- ・ コミセン運営委員会を学区の専門部会として、管理人（運営委員と兼務）を総務・広報・事業・管理・防災の5部に分け任務を決めてコミセン運営にあたっている。
- ・ コミセン運営委員会は、学区役員、コミセン従事者、利用者代表等で構成されており、幅広い意見交換をしている。
- ・ ボランティア募集して、集まってくれた人達により毎月スタッフ会議を開催し、問題点や改善点の洗い出しを行い常に改善活動に取り組んでいる。
- ・ 女性会を中心にコミュニティセンター従事者委員会を設立し、定期的に意見交換しており、きめ細かな管理ができています。
- ・ 運営や経理について透明性を確保し、地域にもオープンにしている。
- ・ ボランティア精神にあふれて、知力・品性に富んだ人々が集まっている。 など

#### ③ 運営面の問題点

問 34 運営面について、どこに問題があるとお考えですか。(○はいくつでも)

コミュニティセンターの運営面が「うまくいっていない」と回答した学区が感じている問題点は、「運営に携わる者の確保が難しい」が70.6%と最も多く、管理者の確保が課題となっています。次いで「運営費の負担が大きい」と「利用者が少ない」がともに47.1%、「地域の関心が薄い」が29.4%となっています。

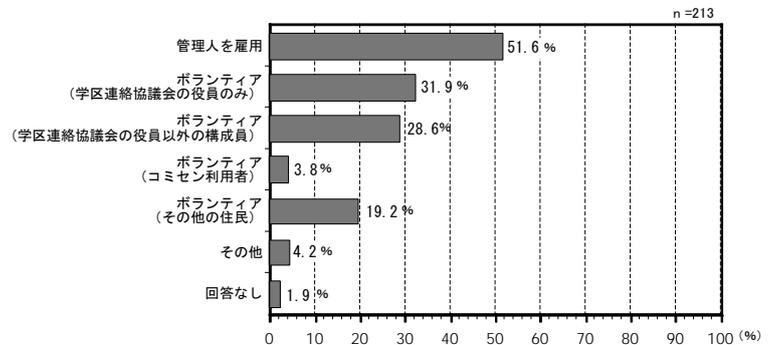
## (2) 管理体制

### ① 管理人の状況

問 35 コミュニティセンターの管理人についてお答えください。【管理形態】(○はいくつでも)

コミュニティセンターの管理人については、「管理人を雇用」が51.6%と最も多く、半数以上の学区は管理人を雇用しています。

また、「ボランティア(学区連絡協議会の役員のみ)」が31.9%、「ボランティア(学区連絡協議会の役員以外の構成員)」が28.6%と、学区連絡協議会の役員や構成員によるボランティアが管理を行っている学区は約3割となっています。

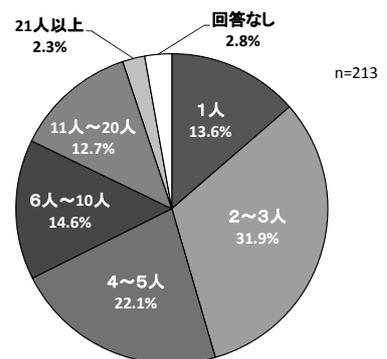


### ② 管理人の人数

問 35 コミュニティセンターの管理人についてお答えください。【管理人として従事している人数】(1つだけ○)

管理人の人数は、「2~3人」が31.9%と最も多く、次いで「4~5人」が22.1%となっており、複数の管理人が交代で管理している学区が多いと考えられます。

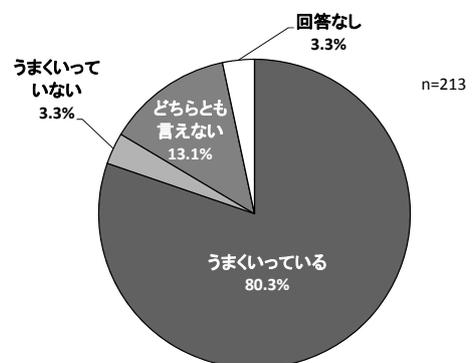
また、「6人~10人」が14.6%、「11人~20人」が12.7%と、大勢の人が関わって管理している学区もみられます。



### ③ 管理体制の評価

問 36 管理体制はうまくいっていますか。(1つだけ○)

管理体制について、「うまくいっている」とした学区は80.3%と、8割以上となっています。



#### ④管理体制でうまくいっている内容

問 37 管理体制について、うまくいっていると考えている内容について、教えてください。

(主な内容)

- ・ 管理人を雇い曜日毎に担当を決め、館長が当番日でない日も一度顔を出している。
- ・ コミセンの運営委員 10 名を中心に一般市民からも事務受付当番を決めて、約 90 名で動かししている。
- ・ 管理人に学区内の住民を雇い、曜日ごとに担当を決めて管理を行っている。
- ・ 学区内の町内会長全員、各種団体の会長等にて管理体制を取っていることが、好結果につながっている。
- ・ 受付、清掃などの日々の管理業務は、各自治会から 1 名及び小中学校、子ども会の人員で、午前・午後の当番制で実施している。
- ・ 管理人を 1 名置いて、他は役員で分担しながら役割を果たしており、情報を共有し、ネットワークが強い。
- ・ 学区副会長の 2 名が 6 か月単位で担当を決めて運営し、連絡帳を活用しながら、連絡を深めあっている。

#### ⑤管理体制の問題点

問 38 管理体制について、どこに問題があるとお考えですか。(〇はいくつでも)

管理体制の評価で「うまくいっていない」と回答した学区が感じている問題点は、「管理人の確保が難しい」が 71.4%と最も多く、管理人の確保が課題となっています。次いで「管理人謝礼の負担が大きい」が 57.1%、「管理人の育成が難しい」が 42.9%となっています。

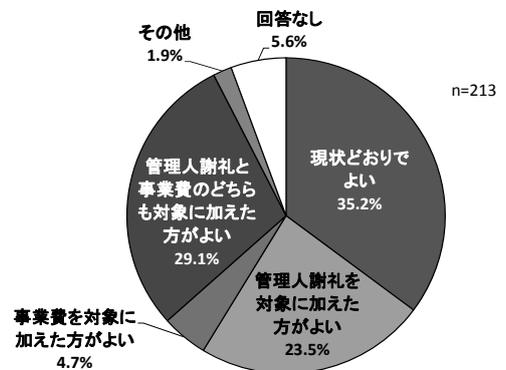
### (3) コミュニティセンターの管理運営費

#### ①指定管理料の対象

問 39 住民の自主的な活動であるコミュニティ活動の拠点となるコミュニティセンターの管理運営費については、光熱水費と事務費などの基本的経費のみを指定管理料として市が負担し、その他の経費である管理人謝礼や事業費などは住民の自主的な努力により負担をするという考えから指定管理料の対象外としていますが、このことについてどのようにお考えですか。(1つだけ〇)

指定管理料の対象経費については、「現状どおりでよい」が 35.2%と最も多くなっています。

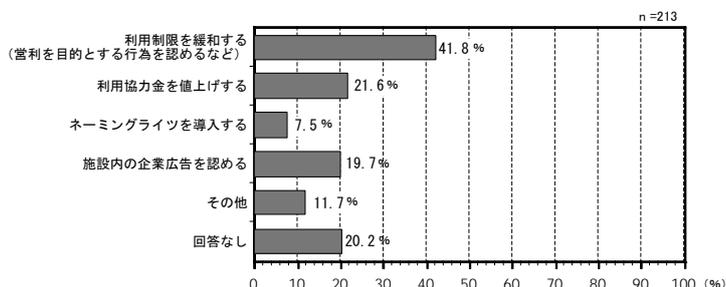
次いで「管理人謝礼と事業費のどちらも対象に加えた方がよい」が 29.1%、「管理人謝礼を対象に加えた方がよい」が 23.5%となっています。



## ②管理運営費や修繕費を確保する方策

問 40 コミュニティセンターの管理運営費は、名古屋市が負担する指定管理料のほか、施設利用者からの協力金（利用協力金）や地域の公共的団体の負担金などで賄っていただいておりますが、管理運営費や修繕費を確保するために認めてもいいものは何だと思えますか。（〇はいくつでも）

管理運営費や修繕費を確保する方策は、「利用制限を緩和する（営利を目的とする行為を認めるなど）」が41.8%と最も多くなっています。

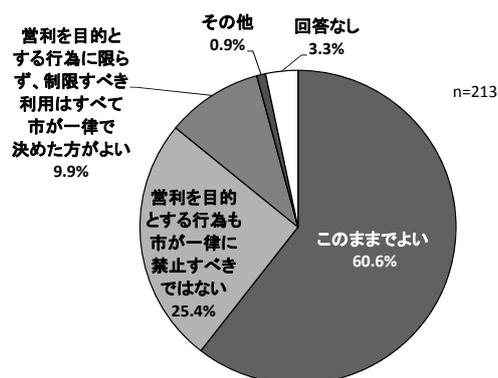


## (4) コミュニティセンターの利用制限

### ①利用制限の決定方法

問 41 現在、コミュニティセンターは営利を目的とする行為のみを市が一律に禁止し、その他の利用制限については基本的に館ごとに決めていただいておりますが、このことについてどのようにお考えですか。（1つだけ〇）

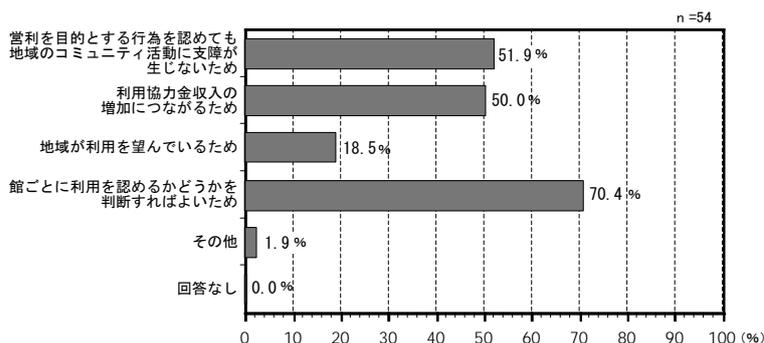
営利を目的とする行為のみを市が一律に禁止し、その他の利用制限については基本的に館ごとに決めるという利用制限の決定方法については、「このままでよい」が60.6%となっています。一方、「営利を目的とする行為も市が一律に禁止すべきではない」は25.4%となっています。



### ②利用制限見直しの理由

問 42 貴団体が、そのように考えている理由は何ですか。（〇はいくつでも）

「営利を目的とする行為も市が一律に禁止すべきではない」と回答した学区の理由は、「館ごとに利用を認めるかどうかを判断すればよいため」が70.4%と最も多くなっています。次いで「営利を目的とする行為を認めても地域のコミュニティ活動に支障が生じないため」が51.9%、「利用協力金収入の増加につながるため」が50.0%と多くなっています。



### ③禁止すべき利用内容

問 43 どのような利用について禁止すべきと考えていますか。(〇はいくつでも)

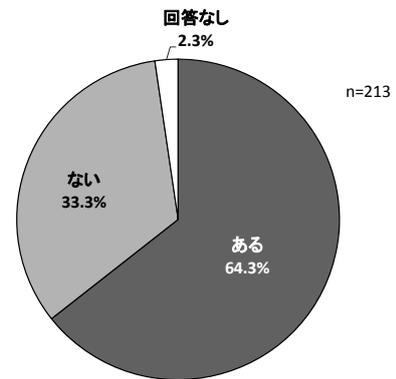
「営利を目的とする行為に限らず、制限すべき利用はすべて市が一律で決めた方がよい」と回答した学区が考える、市において一律に禁止すべきと考えている内容は、「宗教活動」が90.5%、「政治活動」が85.7%、「冠婚葬祭」が76.2%といずれも多くなっています。また、「営利行為」と回答した学区も57.1%と半数以上となっています。

### (5) コミュニティセンターの施設・設備

#### ①施設・設備についてのお困りごとの有無

問 44 貴学区のコミュニティセンターの施設や設備について、困っていることはありますか。(1つだけ〇)

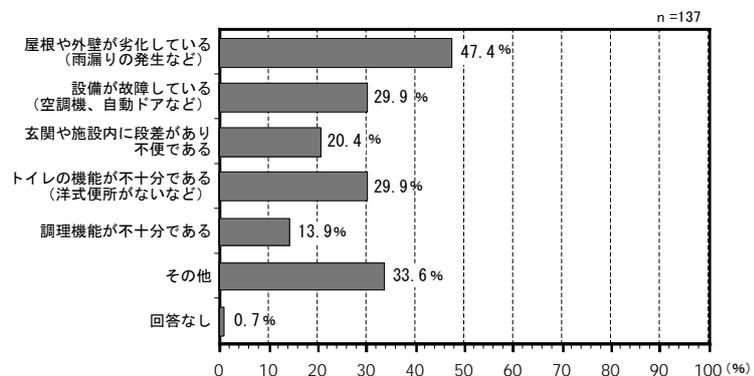
施設・設備についてのお困りごとについて「ある」とした学区は64.3%と、6割以上となっています。



#### ②施設・設備についてのお困りごとの内容

問 45 貴学区のコミュニティセンターの施設や設備について困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

施設・設備についてのお困りごとは、「屋根や外壁が劣化している（雨漏りの発生など）」が47.4%と最も多く、次いで「設備が故障している（空調機、自動ドアなど）」、「トイレの機能が不十分である（洋式便所がないなど）」がともに29.9%となっています。

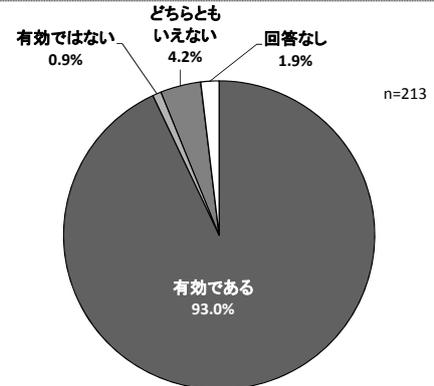


## (6) コミュニティセンターの有効性

### ①コミュニティセンターの有効性

問 46 貴学区は、地域のコミュニティ活動の拠点としてのコミュニティセンターの有効性についてどのように感じていますか。(1つだけ○)

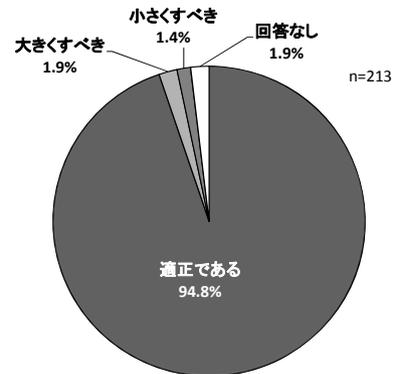
コミュニティセンターの有効性については、「有効である」が93.0%と、ほとんどの学区で有効であると評価されています。



### ②設置単位

問 47 コミュニティセンターは、本市の地域活動が概ね小学校通学区域（学区）を単位として行われていることから、小学校通学区域（学区）を設置単位として学区の要望に基づき整備を進めていますが、設置単位についてどのようにお考えですか。

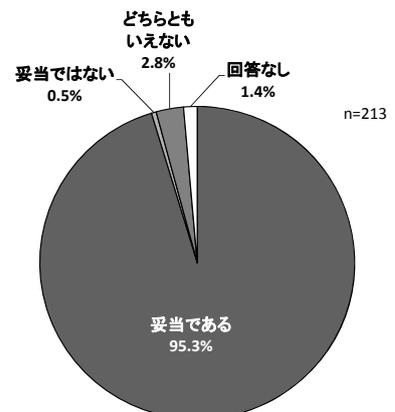
小学校通学区域（学区）を設置単位とすることについては、「適正である」が94.8%を占め、ほとんどの学区が適正と考えています。



### ③学区連絡協議会等による管理運営

問 48 コミュニティセンターは、地域のコミュニティ活動の推進を図るための拠点であることから、小学校通学区域（学区）でコミュニティ活動を幅広く行っている学区連絡協議会等が管理運営を行っていますが、このことについてどう思いますか。(1つだけ○)

学区連絡協議会等によるコミュニティセンターの管理運営については、「妥当である」が95.3%を占め、ほとんどの学区が妥当と考えています。



### ④管理運営を行う者として他にふさわしいもの

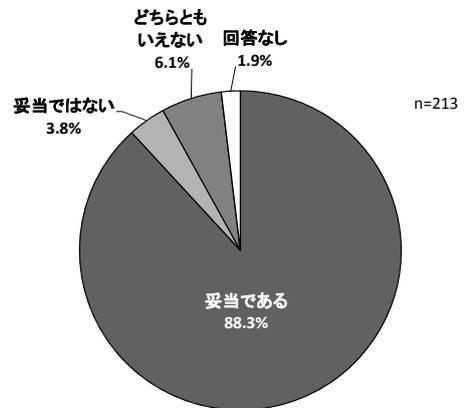
問 49 貴団体が、コミュニティセンターの管理運営を行う者として他にふさわしいと考えているものはありますか。(1つだけ○)

問 48 の質問で「妥当ではない」と回答した1学区は、他に管理運営を行う者として「市職員の退職者等」と回答しています。

⑤指定管理者制度で4年ごとに指定管理者を指定すること

問 50 学区連絡協議会等が自主管理・自主運営を行っているコミュニティセンターは、従来は管理委託制度でしたが、現在は地方自治法の改正により、指定管理者制度で4年ごとに学区連絡協議会等を指定管理者として指定をしています。このことについてどう思いますか。  
(1つだけ○)

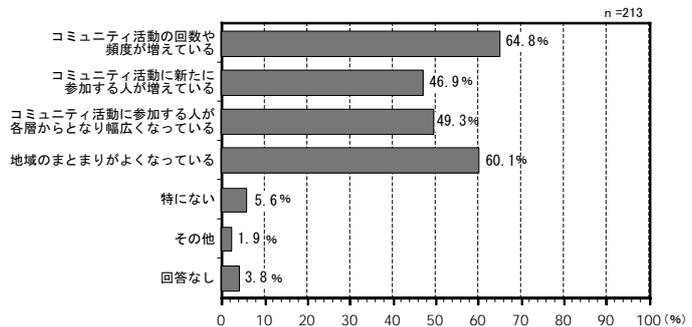
指定管理者制度で4年ごとに指定管理者を指定することについては、「妥当である」が88.3%を占め、約9割の学区が妥当であると考えられています。



⑥コミュニティセンター設置による効果

問 51 コミュニティセンターが設置されていることにより、地域のコミュニティ活動にどのように役立っていると思いますか。(○はいくつでも)

コミュニティセンターが設置されたことによる効果については、「コミュニティ活動の回数や頻度が増えている」が64.8%、「地域のまとまりがよくなっている」60.1%、「コミュニティ活動に参加する人が各層からとなり幅広くなっている」49.3%、「コミュニティ活動に新たに参加する人が増えている」46.9%といずれも高い割合となっており、コミュニティ活動の回数や参加者の拡大、地域のまとまりを強める上で、役立っていると評価されています。



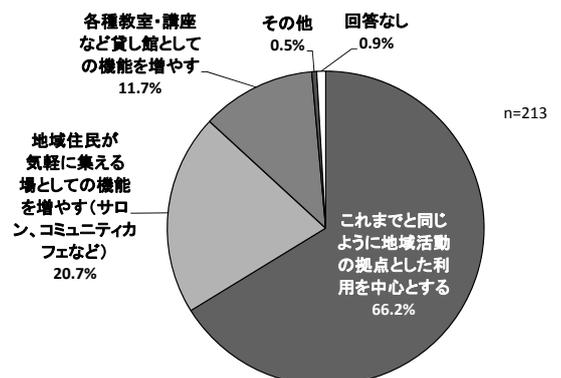
(7) コミュニティセンターの方向性

①今後のコミュニティセンターの方向性

問 52 貴団体が、今後のコミュニティセンターの方向性について、最もふさわしいと思うことは何ですか。(1つだけ○)

今後のコミュニティセンターの方向性については、「これまでと同じように地域活動の拠点とした利用を中心とする」が66.2%と最も多く、今後も地域活動の拠点として利用することがふさわしいと考えられています。

次いで「地域住民が気軽に集える場としての機能を増やす(サロン、コミュニティフェなど)」が20.7%となっています。

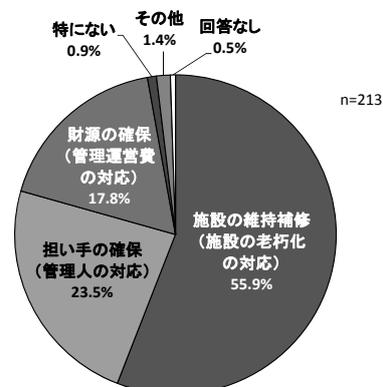


## ②今後最も必要なこと

問 53 貴団体が、今後もコミュニティセンターを管理運営していくための対応として、最も必要だと思うことは何ですか。(1つだけ○)

今後もコミュニティセンターを管理運営していくために最も必要なことは、「施設の維持補修(施設の老朽化の対応)」が55.9%と最も多く、半数以上の学区で施設の老朽化による維持補修が最も必要になると考えられています。

それ以外では「担い手の確保(管理人の対応)」が23.5%、「財源の確保(管理運営費の対応)」が17.8%となっています。



## ③コミュニティセンターに関する意見

問 54 貴団体が、コミュニティセンターに関して日頃から感じていることについてご自由にお書きください。

(主な内容)

- ・図書を開設したことで、子どもも大人も出入りが多くなった。
- ・マンションが建ち、個々の家で会合ができる社会でなくなっている中、コミュニティセンターのような施設は大変利用しやすく、地域情報の発信場所や人と人とのふれあいの場所となっているのでありがたい。
- ・あらゆる人々に平等・公平に利用してもらうためにも、雰囲気良く、明るく、足を運びやすく、入りやすい施設であるべきである。
- ・施設の老朽化による屋根や設備の維持補修や備品類の更新の必要があるが、資金面に心配がある。
- ・学区連絡協議会の構成員が定期的に変動するため、各種事業を専門的に継承できる人材が育ちにくい。
- ・他施設の運営状況、利用状況など統計的なデータや他学区のデータを参考にしたい。

など

## 2-5 準コミュニティセンター設置学区

### (1) 利用している施設

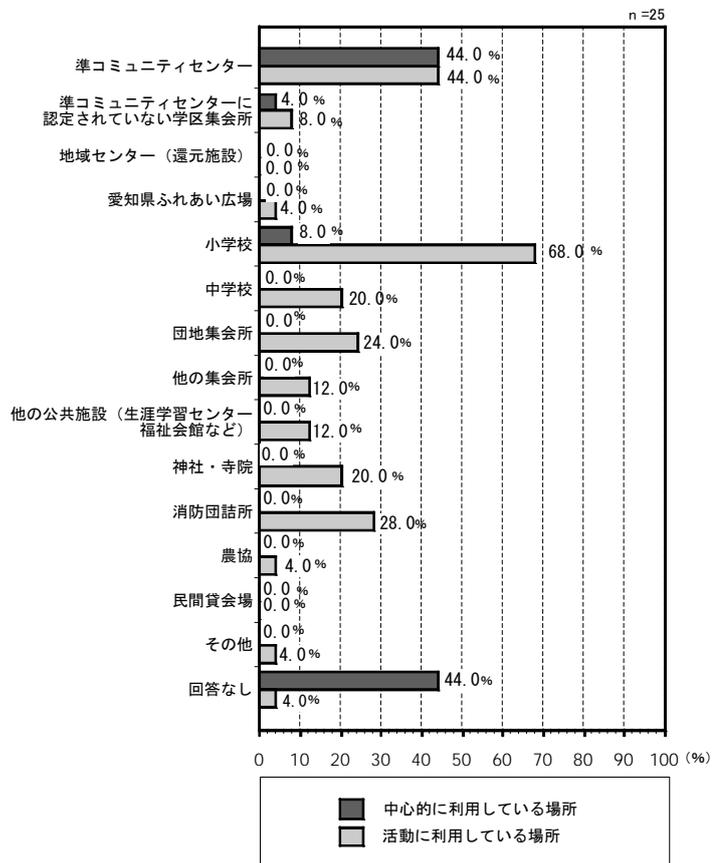
#### ① コミュニティ活動に利用している施設

問 32 貴学区で学区規模の各種団体が会合やコミュニティ活動に利用しているのはどのような場所ですか。(特に中心的に利用しているものに◎印を、その他利用しているすべてのものに○印をつけてください)

コミュニティ活動に中心的に利用している施設としては「準コミュニティセンター」が44.0%と最も多くなっています。

その他でコミュニティ活動に利用している施設としては、「小学校」が68.0%と最も多く、「準コミュニティセンター」が44.0%と続いています。

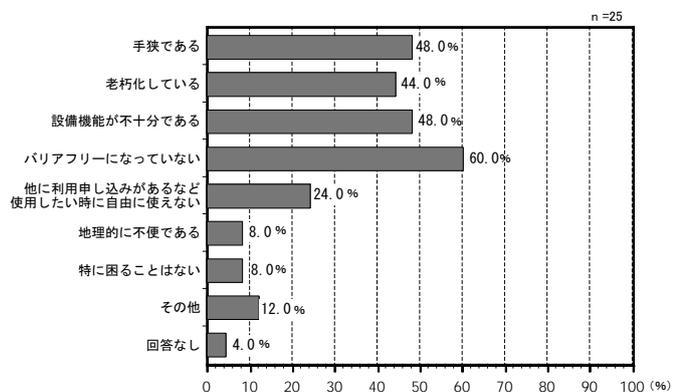
それ以外では「消防団詰所」が28.0%、「団地集会所」が24.0%、「中学校」、「神社・寺院」がともに20.0%となっています。



#### ② コミュニティ施設のお困りごと

問 33 貴学区が中心的に利用しているコミュニティ施設について困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

中心的に利用しているコミュニティ施設について困っていることは、「バリアフリーになっていない」が60.0%と最も多くなっています。次いで「手狭である」、「設備機能が不十分である」がともに48.0%、「老朽化している」が44.0%となっています。

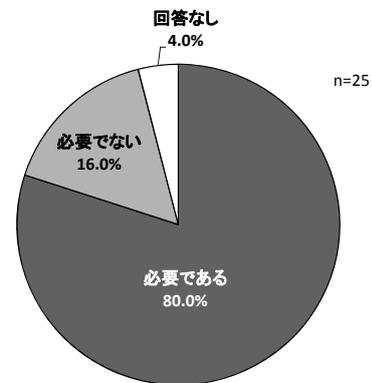


## (2) コミュニティセンターの必要性

### ①コミュニティセンターの必要性

問 34 貴団体は、コミュニティ活動の推進を図るために、市が整備するコミュニティセンターは必要と考えていますか。(1つだけ○)

コミュニティセンターの必要性については、「必要である」が80.0%となっています。



### ②コミュニティセンターが整備されていない理由

問 35 貴学区に、コミュニティセンターが整備されていない理由についてどのようにお考えですか。(○はいくつでも)

コミュニティセンターの整備が必要と回答した学区の整備されていない理由は、「コミュニティセンターの建設用地がないため」が35.0%、「コミュニティセンターの管理運営に関する学区の負担が大きいため」、「現在使用している施設で、地域活動が行えているため」がともに30.0%となっています。

### ③コミュニティセンターが必要でない理由

問 36 貴団体が、コミュニティセンターが必要でない理由は何ですか。(○はいくつでも)

コミュニティセンターの整備が必要でないと回答した4学区の必要でない理由は、すべての学区が「現在使用している施設で地域活動が行えており、特に支障がないため」と回答しています。また、「コミュニティセンターの管理運営に関する学区の負担が大きいため」と回答した学区も1学区ありました。

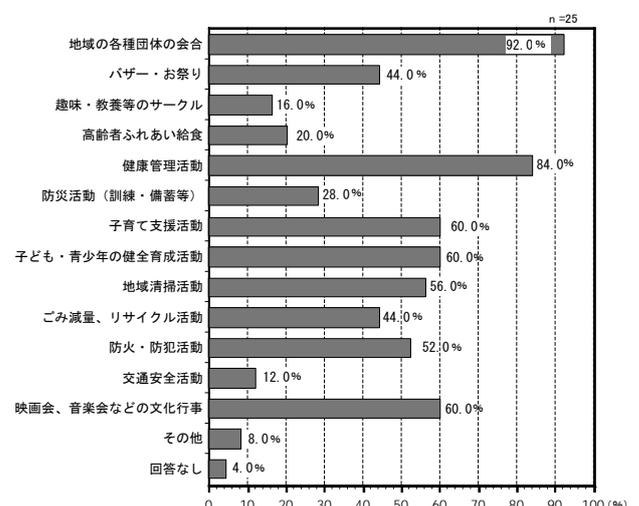
## (3) 準コミュニティセンターの運営

### ①利用内容

問 37 準コミュニティセンターの利用内容は何ですか。(○はいくつでも)

準コミュニティセンターの利用内容は、「地域の各種団体の会合」が92.0%と、ほとんどの学区で団体の会合に利用されています。

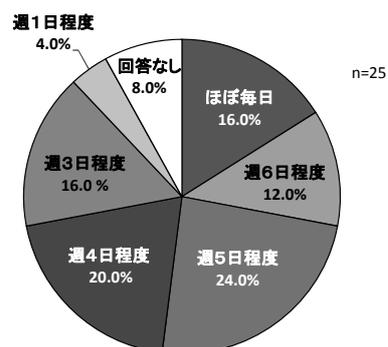
それ以外では「健康管理活動」が84.0%、「子育て支援活動」、「子ども・青少年の健全育成活動」、「映画会、音楽会などの文化行事」がそれぞれ60.0%と多くなっており、地域の様々な活動に利用されています。



## ②利用頻度

問 38 準コミュニティセンターは、平均すると週何日くらい利用されていますか。(1つだけ○)

週の平均の利用日数は、「ほぼ毎日」16.0%、「週6日程度」12.0%とほぼ毎日に近い利用があるのは約3割となっています。さらに、「週5日程度」の24.0%、「週4日程度」の20.0%を加えると、7割を超える施設で週4日以上利用されています。

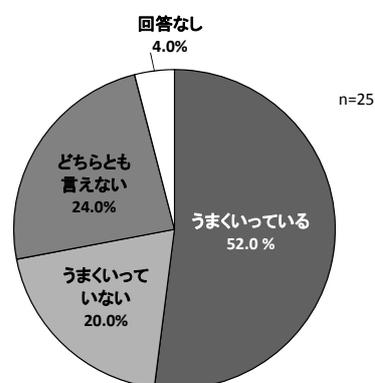


## ③運営面の評価

問 39 準コミュニティセンターの運営面はうまくいっていると思いますか。(1つだけ○)

準コミュニティセンターの運営面について、「うまくいっている」とした学区は52.0%と半数以上となっています。

一方、「うまくいっていない」とした学区も20.0%となっています。



## ④運営面でうまくいっている内容

問 40 運営面について、うまくいっていると考えている内容について、教えてください。

(主な内容)

- ・集会所の運営は管理人を定め、運営を全面的にまかし、全体的な責任は、学区委員長がとるようにしている。
- ・準コミュニティセンターに担当の管理者を置き、会計、幹事なども置いて相談しながら運営している。
- ・運営委員会をもうけ、総務、会計、事業等の分野ごとにメンバーを分けて組織している。

など

## ⑤運営面の問題点

問 41 運営面について、どこに問題があるとお考えですか。(〇はいくつでも)

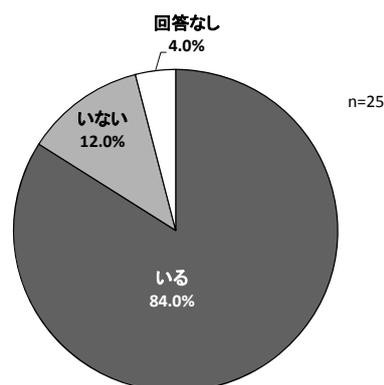
準コミュニティセンターの運営面で「うまくいっていない」と回答した学区が感じている問題点は、「運営費の負担が大きい」が60.0%と最も多くなっています。次いで「利用の調整が難しい」、「利用者が少ない」がともに40.0%、「運営に携わる者の確保が難しい」が20.0%となっています。

## (4) 準コミュニティセンターの管理体制

### ①管理人の有無

問 42 管理人はいますか。(1つだけ〇)

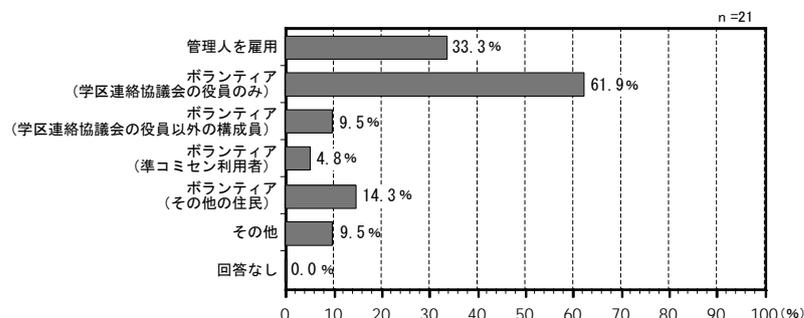
管理人の有無については、「いる」が84.0%とほとんどの学区で管理人が置かれています。



### ②管理人の状況

問 43 管理人についてお答えください。【管理形態】(〇はいくつでも)

管理人の状況については、「ボランティア(学区連絡協議会の役員のみ)」が61.9%と最も多く、役員を中心としたボランティアで管理されている学区が多くなっています。一方、「管理人を雇用」している学区は33.3%となっています。

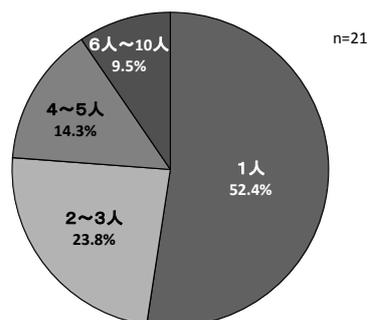


### ③管理人の人数

問 43 管理人についてお答えください。【管理人として従事している人数】(1つだけ〇)

管理人として従事している人数は、「1人」が52.4%と最も多く、半数以上の学区は1人で管理されています。

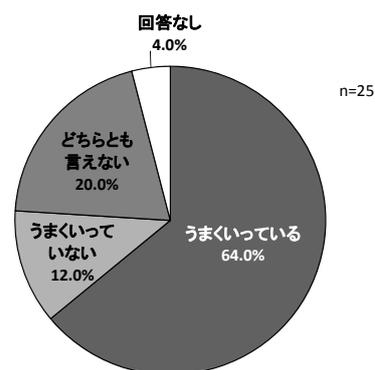
また「2~3人」が23.8%、「4~5人」が14.3%となっており、複数の管理人が交代で管理している学区もみられます。



#### ④管理体制の評価

問 44 管理体制はうまくいっていますか。(1つだけ○)

管理体制について、「うまくいっている」とした学区は64.0%と、6割以上を占めています。



#### ⑤管理体制がうまくいっている内容

問 45 管理体制について、うまくいっていると考えている内容について、教えてください。

(主な内容)

- ・学区連絡協議会役員(1名)がほぼ常駐して(若しくは連絡がとれるようにして)、管理人さんの負担を軽減している。
- ・現在は学区連絡協議会の役員の中から専任者として担当する体制をとっているので協議会の役員全体で(専任者の都合が悪い時など)カバーする。
- ・管理人を雇い、曜日ごとに担当者を決めて管理を行っている。
- ・学区女性会役員がボランティアで管理している。 など

#### ⑥管理体制の問題点

問 46 管理体制について、どこに問題があるとお考えですか。(○はいくつでも)

管理体制の評価が「うまくいっていない」と回答した学区が感じている問題点は、「管理人謝礼の負担が大きい」が66.7%、「管理人の確保が難しい」が33.3%となっています。

#### ⑦準コミュニティセンターやその他のコミュニティ施設についての意見

問 47 貴団体が、現在使用している準コミュニティセンターやその他のコミュニティ施設について日頃から感じていることについてご自由にお書きください。

(主な内容)

- ・午前や昼間の利用者の増進に問題があると感じており、利用率の増加に努めたい。
- ・さらに地域活動の拠点とできるよう、利用のPRを重点に利用を増やす必要を感じている。
- ・26年目を迎えているが、施設は、年3回は大掃除をしているのでピカピカだが、コミセンと異なり色々な修理費が交付されないことが理解できない。
- ・補助金を申請するのが大変なので、もっと簡単にしてほしい。
- ・老朽化が進んでいるため、管理運営費が年々増加してきている。 など

## 2-6 コミュニティセンター・準コミュニティセンター未設置学区

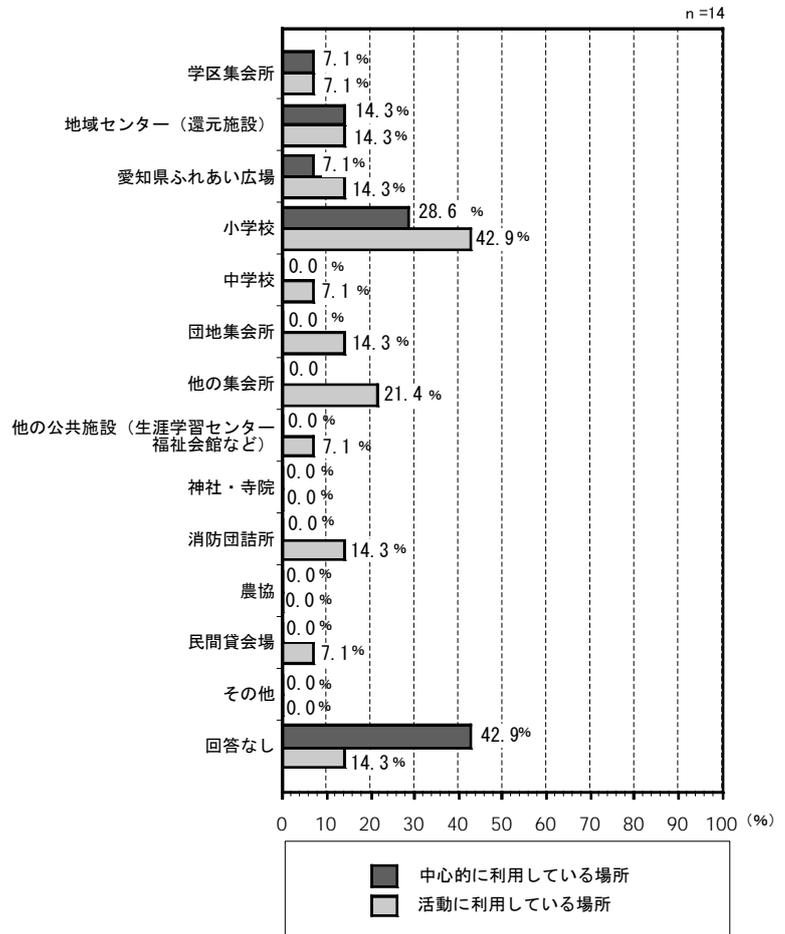
### (1) 利用している施設

#### ①コミュニティ活動に利用している施設

問 32 貴学区で学区規模の各種団体が会合やコミュニティ活動に利用しているのはどのような場所ですか。(特に中心的に利用しているものに◎印を、その他利用しているすべてのものに○印をつけてください)

コミュニティ活動に中心的に利用している施設としては「小学校」が28.6%と最も多くなっています。

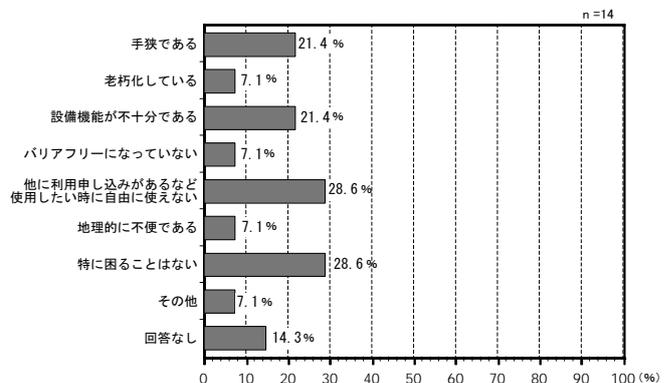
その他でコミュニティ活動に利用している施設としては、「小学校」が42.9%と最も多く、それ以外では「他の集会所」が21.4%などとなっています。



#### ②コミュニティ施設のお困りごと

問 33 貴学区が中心的に利用しているコミュニティ施設について困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

中心的に利用しているコミュニティ施設について困っていることは、「他に利用申し込みがあるなど使用したい時に自由に使えない」、「特に困ることはない」がともに28.6%、「手狭である」、「設備機能が不十分である」がともに21.4%となっています。

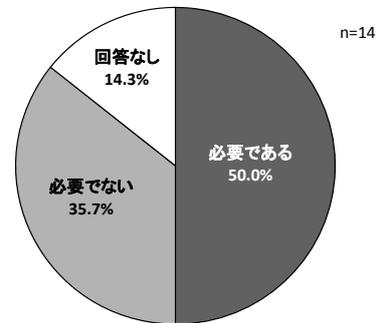


## (2) コミュニティセンターの必要性

### ①コミュニティセンターの必要性

問 34 貴団体は、コミュニティ活動の推進を図るために、市が整備するコミュニティセンターは必要と考えていますか。(1つだけ○)

コミュニティセンターの必要性については、「必要である」と答えた学区が 50.0%となっています。一方、「必要でない」と回答した学区も 35.7%となっています。



### ②コミュニティセンターが整備されていない理由

問 35 貴学区に、コミュニティセンターが整備されていない理由についてどのようにお考えですか。(○はいくつでも)

コミュニティセンターが必要であると回答した学区の整備されていない理由は、「コミュニティセンターの建設用地がないため」が 71.4%、「現在使用している施設で、地域活動が行えているため」が 14.3%となっています。

### ③コミュニティセンターが必要でない理由

問 36 貴団体が、コミュニティセンターが必要でない理由は何ですか。(○はいくつでも)

コミュニティセンターの整備が必要でないと回答した 5 学区の必要でない理由は、すべての学区が「現在使用している施設で地域活動が行えており、特に支障がないため」と回答されています。また、「コミュニティセンターの管理運営に関する学区の負担が大きい」と回答した学区も 2 学区ありました。

### ④コミュニティ施設についての意見

問 37 貴団体が、現在使用しているコミュニティ施設について日頃から感じていることについてご自由にお書きください。

(主な内容)

- ・ 小学校側の協力で、100%でないが、各部会等が日程調整をしながら事業を行っている。各部会の会議は土曜日夜間や日曜、祝日に集中して行っている。
- ・ 手狭であり、バリアフリーや設備機能などが不十分である。
- ・ 現在使用している公民館は、築 50 年近く経過し、学区町内会で負担している維持管理費が年々増加している。

など